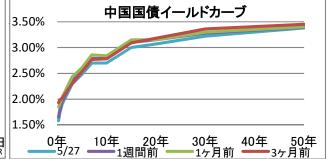
# セントラル短資中国金融市場调報 (2022年5月23日~2022年5月27日)

基準レ-	-ト	2022/5/27	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7387	-0.0100
	JPY/CNY	5.3088	+0.0303
SHIBOR	3M	1.9950%	-0.0550%
国債利回り	10年	2.70%	-0.09%
上海総合指数		3,130.24	-16.33





## (1) 概況

国際金融市場では、米国での急速な金融引き締め懸念が低調な経済指標やFOMC議事要旨によりやや緩和され、CPIの伸びが17か月ぶりに鈍化したこと等から漸くリスクオフの巻き戻しが入り、ダウ平均株価は週間ベースで9週ぶりに上昇に転じ、米10年国債利回りち2.74%に低下している。

中国金融市場では、景気悪化懸念と政府の支援策への期待が交錯して方向感のない展開となり、株式市場は下落に転じており、債券利回りは低下している。週初は北京でCOVID-19感染拡大への懸念からリスクオフとなり、政府の経済支援策への期待から株式市場は上昇に転じたものの戻りは限定的で、債券市場も利回り低下余地の乏しさから小幅な利回り低下に止まり、外為市場では売買交錯により乱高下したものの結局小幅な元安となっている。

中国では、上海でのロックダウンが緩和される見通しながら2ヶ月に迫ったことや北京での感染拡大によりロックダウンの弊害が強く意識される状況となっている。国務院は23日に政府工作報告の実施に向けた33項目の網羅的な措置を決め、25日には李首相が10万人と言われる全国の幹部向けのテレビ会議において経済の現状を2020年と比べても厳しい状況にあるとの認識を示し、感染拡大防止と経済発展対応の実施が必要として、責任感ある政府工作報告の前倒し実施を求めている。また、国務院と金融当局は国内債券市場(店頭市場、取引所市場)の一段の対外開放推進を決め、証監会はインフラREIT s での賃貸住宅を含む不動産投資を規範化し、証券会社の投資銀行業務検査体制を整備し、香港SFCとストックコネクトでのETFの相互取引を2ヶ月内に始めることを発表している。

# (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元に対し、新規リバースオペ500億元による中立調整を実施。

#### (3) 主な経済指標

<u>工業企業利益(4月)</u>は-8.5%(3月+12.2%)と、2020年3月以来の大幅なマイナスとなった。地域的には東部、東北部、部門では電力や製造業が大きな落ち込みとなった。

### ②資金市場

## (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD
	SHIBUR	無担休貝立	D/N	AAA
ON	1.3810%	1.3810%	1.3700%	
1W	1.7770%	1.8500%	1.8300%	
2W	1.7380%	2.1800%	2.0000%	
1 M	1.8540%	2.0000%	5.5000%	1.5000%
3M	1.9950%	4.1000%	2.0500%	1.8300%
6M	2.1300%	2.9500%		1.9900%
9M	2.2390%			2.1850%
12M	2.3230%	2.9500%		2.2850%

資金需給が安定していることに加え、政府や中国人民銀行の住宅ローンや中小企業金融支援姿勢による先行きの資金需給や金利水準への安心感から金利水準は低下を続けている。ただし、ターム物は1ヶ月の1.90%前後での出合いを除き限定的。

NCDは、金利低下期待は強い一方で低下余地が限定的なこともあり、取引もやや低調となっており、ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.5%前後、3ヶ月が1.8%前後、6ヶ月が2.0%前後、1年が2.27%前後とほぼ前週末の水準での取引が続いた。

#### (2) 米ドル資金(本土内)

) VIVI 775-C			
	BID	OFFER	
ON	0.75%	0.77%	
1W	0.78%	0.80%	
1M	0.90%	1.00%	
3M	1.50%	1.60%	
6M	2.00%	2.10%	
12M	2.50%	2.70%	

米国での住宅指標の悪化やFRBのFOMC議事要旨から懸念さえれたほどタカ派的ではないことが確認されたものの、中国国内市場は短期取引中心でターム物は1ヶ月の1.0%前後での出合いを除き限定的。

## ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.58%		1.82%	1.91%	2.09%
6M	1.73%		1.98%	2.12%	2.30%
1Y	1.91%	2.12%	2.28%	2.28%	2.48%
3Y	2.29%	2.49%	2.67%	2.77%	3.17%
5Y	2.48%	2.77%	3.00%	3.19%	3.92%
10Y	2.70%	3.11%	3.39%	3.56%	4.36%

債券市場では、李首相が幹部向け会議での経済に対する厳しい現状認識を示し、全国に向けて政策の迅速な実施を要請したことや、米国債利回りのピークアウトや国外投資家の買いも入り、債券利回りは長期を中心に低下を続け、10年債利回りは2.70%に低下している(米10年国債2.74%)。

イールドカーブは、短期の低下余地が乏しい中で中長期を中心に利回りの低下が続いたことからブルフラットニングに 転じている。また、クレジットスプレッドは国外投資家の国債購入によりこれまで下げ渋っていた利率債利回りがやや大 幅に低下する一方、景気悪化懸念から信用債利回りの低下が限定的となったことから、小幅ながら拡大に転じている。

# 4. 先物為替市場

	USD / CNY
1W	12.5 / 13.0
1 M	39.1 / 40.3
3M	68.0 / 71.0
6M	56.0 / 65.0
9M	22.5 / 28.0
12M	-17.0 / -14.0

対ドル基準レートは6.7387と前週末比-100pipsのドル安元高、対円基準レートは5.3088と同+303pipsの円高元安と、中国国内市場では上海でのロックダウン中国景気の回復期待と世界的なドル安もあって小幅な元高に転じている。中国国内市場では、週初はドルが下落に転じて6.65台まで元が買い戻されたものの、週後半には中国経済の一段の悪化懸念から6.76台に急落、その後は国外投資家の資金流入もあって6.70台まで戻す荒っぽい展開となった。

先物は、方向感に乏しく小幅なレンジ取引となったが、週後半に債券利回りの低下が進むと1年物はマイナス圏での取引が続いた。

## ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.86%		1.75%
6M	1.94%	2.12%	1.82%
9M	1.99%	2.22%	1.87%
1Y	2.03%	2.30%	1.89%
3Y	2.25%	2.59%	2.00%
5Y	2.60%	2.85%	
7Y	2.61%	3.03%	
10Y	2.78%	3.23%	

スワップ金利は、短期の基準金利と債券利回りの低下に伴い全般的に一段と低下。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも基準金利の低下もあり、こちらも小幅な縮小が続いている。

<sup>◆</sup>本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

<sup>◆</sup>本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

<sup>◆</sup>金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。